

「知」の集積と活用
の場
産学官連携協議会
ポスターセッション
～ 平成29年度 第1回 ～



吹田市の花・さつき

日時：平成29年6月13日（火） 13：00～17：30
会場：関西大学 千里山キャンパス 100周年記念会館
（大阪府吹田市山手町3-3-35）

「知」の集積と活用
の場 産学官連携協議会
農林水産省

謝 辞

この度のポスターセッションの開催に際し、関西大学様より、プログラムの企画立案、会場の確保・設営、必要機材等の準備、当日運営などの面で親身かつ多大なるお力添えを賜りました。

主催者として、ここに謹んで御礼を申し上げます。

平成29年6月13日

農林水産省 農林水産技術会議事務局 産学連携室
株式会社リベルタス・コンサルティング

研究成果発表及びポスターセッション開催の趣旨・目的

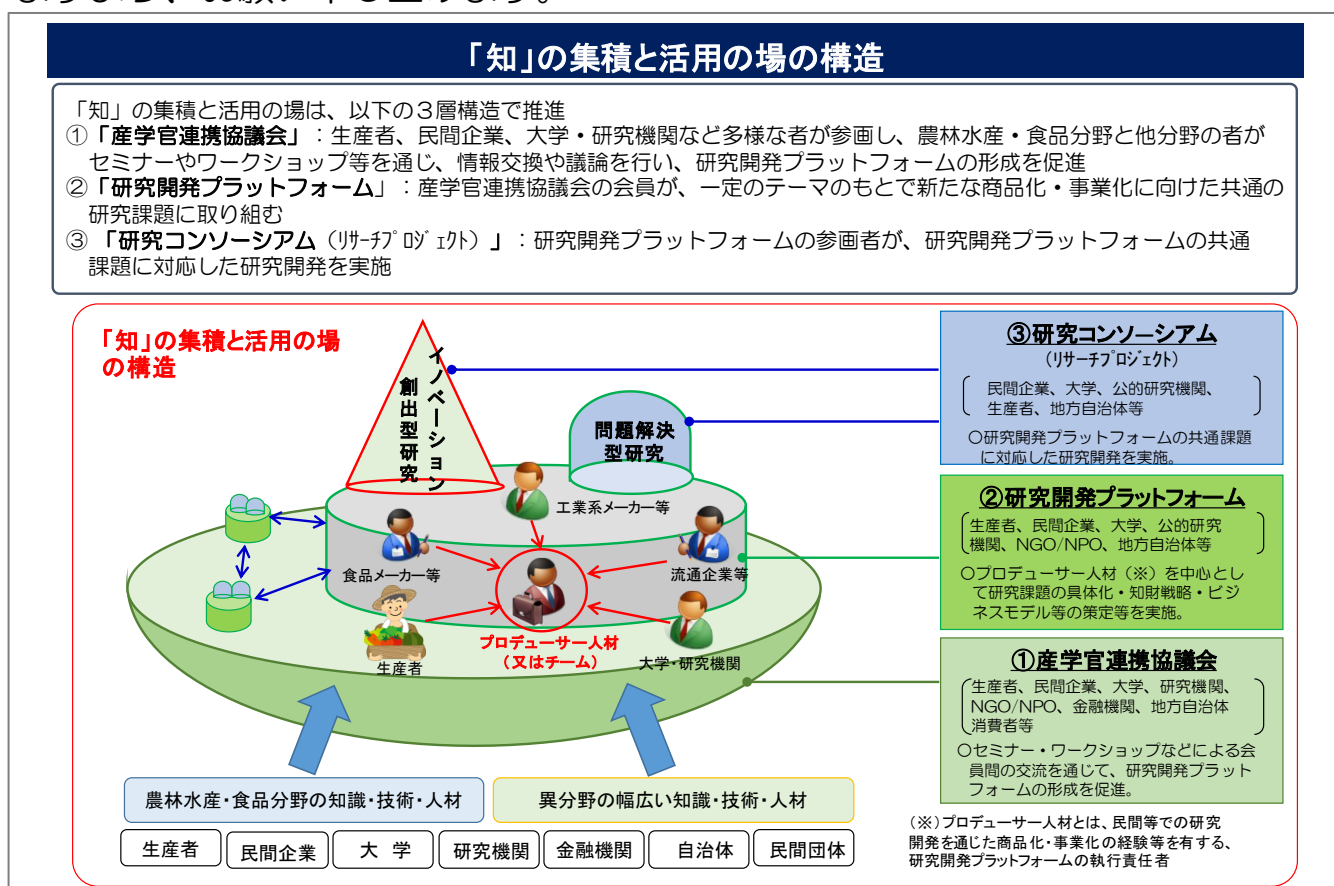
「知」の集積と活用場の場産学官連携協議会は、高い活動意欲を持つ会員が自発的に新たな技術・アイデアや課題を発信・交流する場を設けるため、準備会の時代からポスターセッションを開催してきました。今回は平成 28 年 10 月 21 日に農林水産省の本省で開催し、100 に近いブース出展と 300 名を超える出展者・来場者を得て盛況でした。

当協議会としては、引き続き回数を重ねる中でオープンな連携を通じた会員間の“化学反応”を起こしていきたいと考えており、本日、ポスターセッションを開催する運びとなりました。今回の会場は関西大学（千里山キャンパス、大阪府吹田市）であり、東京以外では初めての開催となります。

今回も、「オープンな産学連携研究の枠組みの下で農林水産・食品分野に異分野の知識や技術を導入して革新的な技術シーズを生み出すとともに、それをスピード感をもって商品化・事業化へと導き、国産農林水産物のバリューチェーンの形成に結びつける」という当協議会の基本理念を、よりいっそう具現化していくことを目的としています。

他方で、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が主宰されるオープンイノベーション・ベンチャー創造協議会（JOIC）の招待発表や、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の出展と事業相談窓口設置など、当協議会と協力関係にある機関の参加を得て、農林水産業・食品産業分野におけるイノベーション創出に向けた連携の深化を目指していることが特徴です。

出展者・来場者の皆様におかれましては、「知」の集積と活用場に対する一層のご理解を賜りますとともに、より主体的かつ積極的に協議会活動に参画していただきますよう、お願い申し上げます。



当日プログラム

■ 13:00～13:10頃 開会セレモニー

○来賓ご挨拶

関西大学 学長 芝井 敬司 様

○主催者挨拶

農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室 室長 野島 昌浩 氏

※ ポスターセッションと同ホール内のステージ付近で行います。

■ 13:10頃～13:15頃 開催事務局からのご連絡

■ 13:00～17:30 ポスターセッション（自由交流）

会場内にて自由にご交流ください。

※ 交流・打ち合わせスペースをポスターセッションと同じ会場内の第5第6会議室に設置しておりますので自由にご利用ください。（ご不明な際はお近くのスタッフまでお尋ねください。）

■ 13:30～15:30 発表・講演

○活動報告

「新たな産学官連携の仕組み ～「知」の集積と活用～」

「知」の集積と活用～産学官連携協議会 運営委員 折戸 文夫 氏

（三菱ケミカル株式会社 顧問）

○招待講演

「NEDOのベンチャー・中小・中堅企業向け支援事業とオープンイノベーション・ベンチャー創造協議会のご紹介」

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構／オープン

イノベーション・ベンチャー創造協議会事務局 主幹 小栗 和行 氏

○平成28年度「研究開発モデル事業」採択コンソーシアムのピッチ発表

（プロジェクト概要、成果、方向性等）

⇒ ピッチ発表者の名称・順序等は本資料末尾（p. 22）をご参照ください。

※ 発表・講演はポスターセッションと同じホール内のミニセミナー会場にて行います。

■ 15:30~17:00 情報提供・相談窓口

関係機関・連携団体が実施する補助事業スキーム等に関する情報提供・相談窓口の設置

○国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）：
研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）

※会場はポスターセッションと同じ会場内の[第1 特別会議室](#)です。

※担当者による約20分のプログラム説明の後、個別相談をお受けいたします。

○(公社)農林水産・食品産業技術振興協会（JATAFF）：

平成29年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業「周辺特許情報の調査」「共有特許等の権利調整」

※会場はポスターセッションと同じ会場内の[第3 会議室](#)です。

※担当者による約15分の事業説明の後、個別相談をお受けします。

■ 18:00~19:30 情報交換会（会費 お一人3,000円）

同会場内のレストラン『紫紺』にて開催いたします（時間になりましたら、スタッフが誘導いたします）。

併催企画（セッション会場にて）

○関西大学の農林水産・食品分野関連研究活動PRコーナー

○農林水産省（技術会議事務局）からの情報発信コーナー

【「知」の集積と活用の中 産学官連携協議会の活動・成果等に関する展示】

■ 「会員活動」の展示

「知」の産学官連携協議会の会員の取組みの概要や技術シーズ等に係るポスター（カラーパネル）や関連事物を展示します。

■ 「研究開発プラットフォーム」の展示

「知」の集積と活用の中 イノベーションの創出を目指す研究開発プラットフォーム（※）として届出を済ませており、農林水産分野における新たな商品化・事業化を目指した共同研究開発に先導的に取り組んでいる活動主体の技術シーズや展望・ビジョン等に係るポスター（カラーパネル）や関連事物を展示します。

※ 産学官連携協議会の会員が組織、分野、地域等の垣根を超えて連携し、新たな商品化・事業化を目指して共同して研究開発に取り組むオープンな活動母体を「研究開発プラットフォーム」と呼びます。

■ 「研究コンソーシアム」の展示

研究開発プラットフォームが実際に推進している研究開発プロジェクト（＝研究コンソーシアム）（※）が有する技術シーズや展望・ビジョン、これまでの成果や今後の課題等に係るポスター（カラーパネル）や関連事物を展示します。

※ 産学官連携協議会の会員からなる研究開発プラットフォームが打ち出すビジョンと戦略に基づき、専門的な技術・アイデアを持ち寄り、革新的な研究開発を行うグループを「研究コンソーシアム」と呼びます。

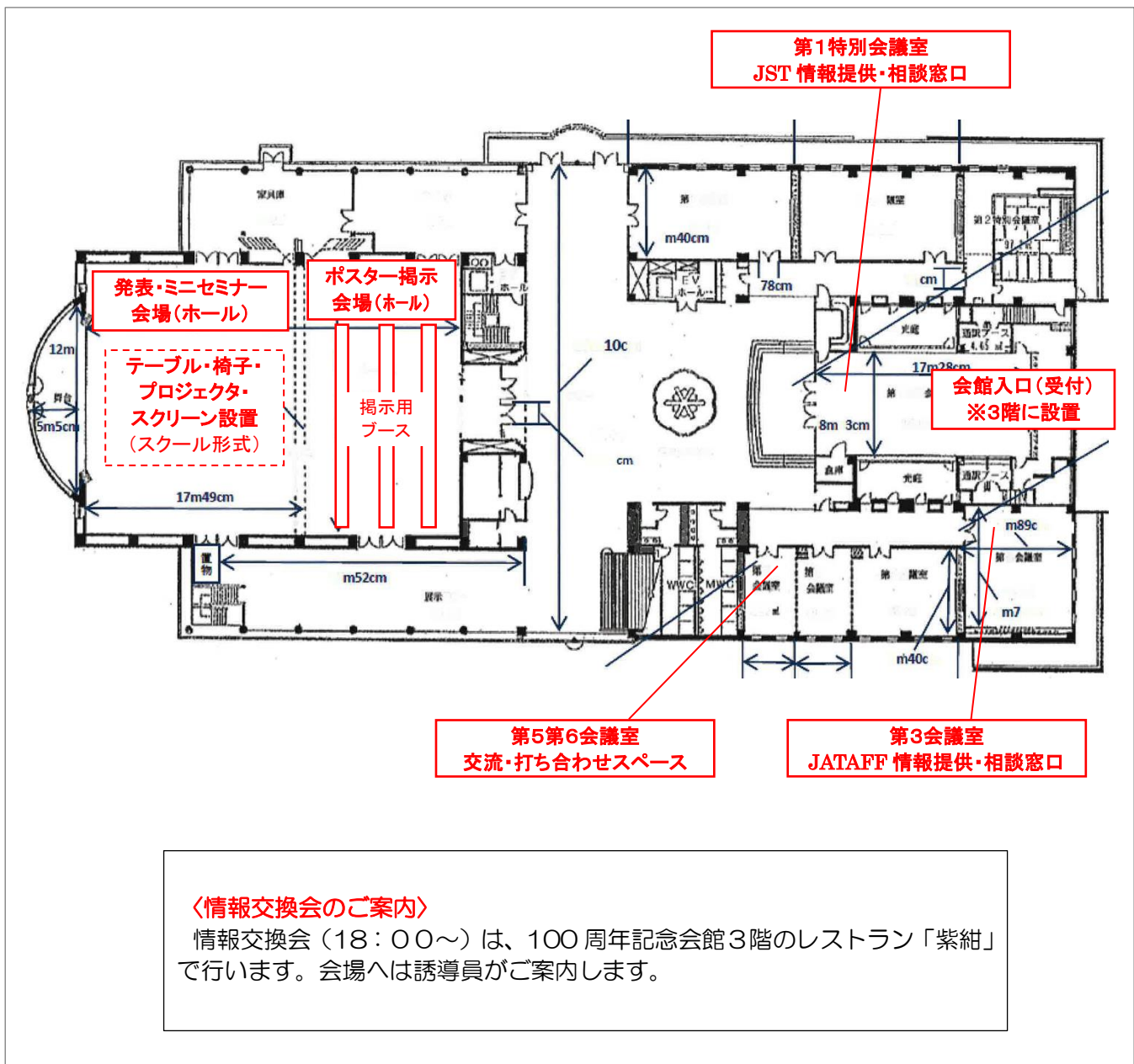
■ 「一般出展」の展示

「知」の集積と活用の中 産学官連携協議会の会員との連携を希望される個人・団体や、会員となることを前提として活動中の個人・団体等の取組に係るポスター（カラーパネル）や関連事物を展示します。

※ ポスターセッション会場における出展ブースの並び順は上記の区分ではなく、研究開発の領域に基づいています。詳しくは8ページ以降の「出展者リスト」でご確認ください。

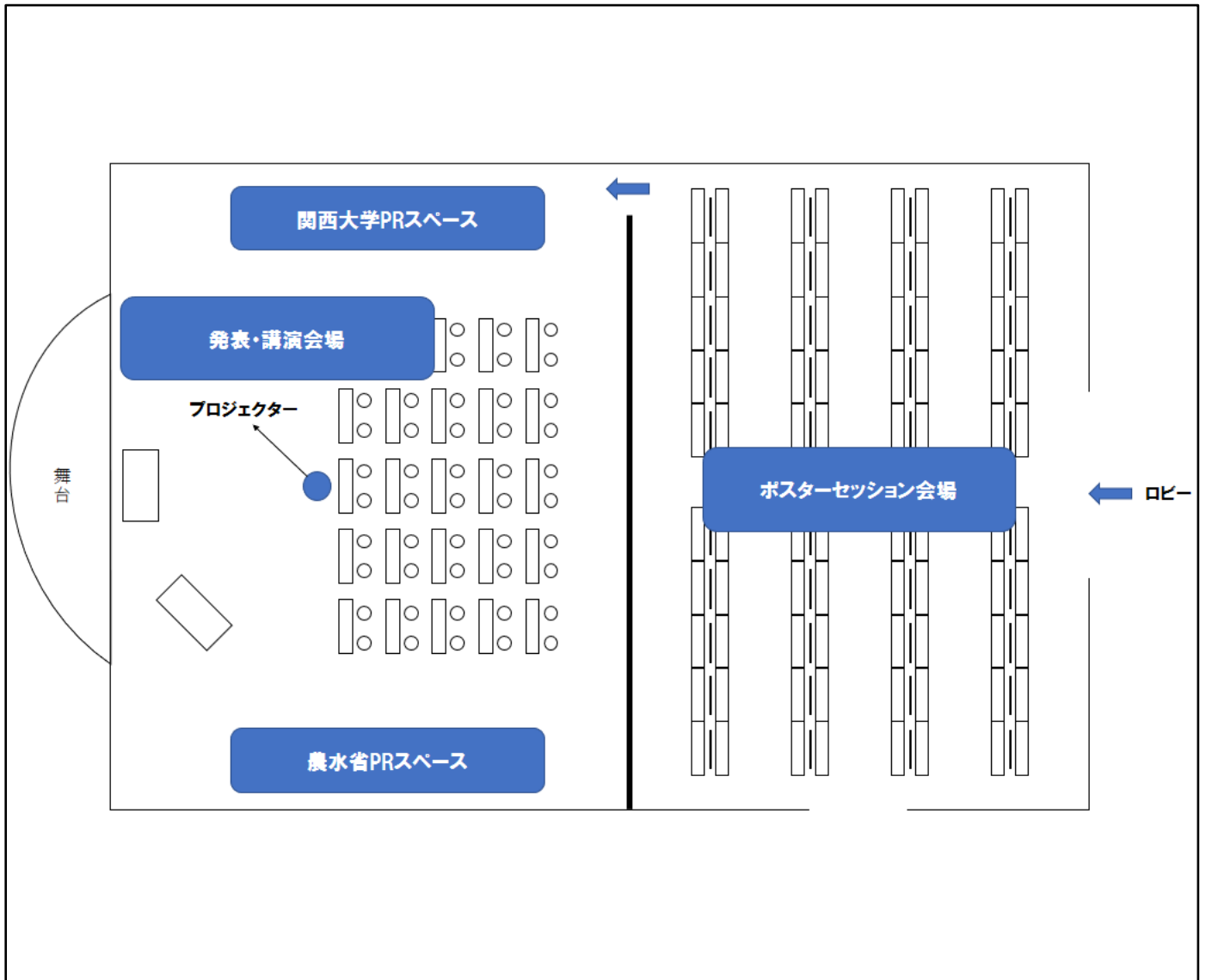
※ プログラムや講演・発表、展示内容等については予定であり、当日予告なく変更となる可能性もあります。

会場案内図：100周年記念会館 2階の全体図

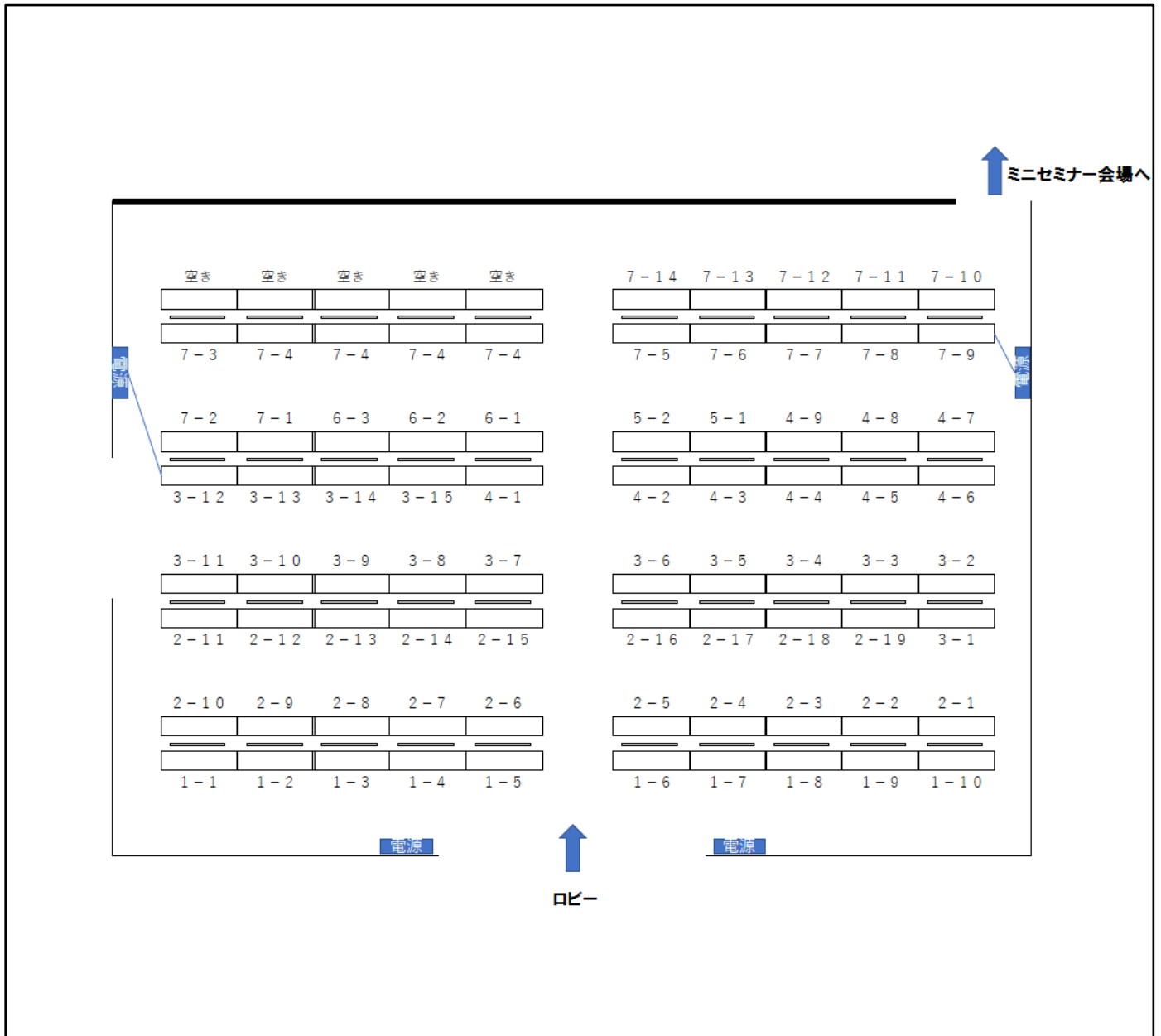


※100周年記念会館の正面玄関は、地上と同じ高さがありますが、建物の構造上、会館3階に当たります。

会場案内図：ホール（ポスターセッション、発表・講演会場）



会場案内図：ポスターセッション会場（ポスター並び順）



■ 「知」の集積と活用の中 産学官連携協議会 ポスター展示

分野 1 日本食・食産業のグローバル展開

1-1 ウルトラファインバブル水を利用したアイスクリームの試作検討

農林水産・食品産業ファインバブル研究開発プラットフォーム

● 展示概要

ウルトラファインバブル水を用いてアイスクリームを試作したところ、官能評価や脂肪凝集率測定により違いを確認した。その実験内容をポスターにて展示し、それに関連する文献、装置資料等を展示する。

1-2 プラットフォーム紹介（アグロバリューチェーン研究開発プラットフォーム）

アグロバリューチェーン研究開発プラットフォーム

● 展示概要

プラットフォームの概要と活動内容を紹介する。

1-3 平成28年度活動概要 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

● 展示概要

プラットフォーム概要と、現在までの活動、研究開発コンソーシアム構築の取り組みについて紹介。

1-4 鮮度保持袋（フレッシュママ）

日産スチール工業株式会社

● 展示概要

鮮度保持の検証データポスターの展示、鮮度保持袋サンプルの提供による紹介。

1-5 過冷却促進技術による農産物の保存・流通技術の開発

関西大学

● 展示概要

過冷却温度を低下させる可能性のある様々な天然物エキスをを用いて、過冷却状態で保存する技術の研究について紹介する。コンソーシアムにおいては生産から保存・流通後の過程における野菜などの保存までの農産物のトレーサビリティの確立も目指している。

1-6 食品の革新的保存・流通研究開発プラットフォーム

食品の革新的保存・流通研究開発プラットフォーム

● 展示概要

本プラットフォームでは、低温・未凍結状態で食品の鮮度を長期間保持するために必要な保存・殺菌などの技術、および、鮮度を保持した状態で食品を国内外に輸送する流通技術の研究開発を通じて、革新的なワールドチェーンの構築を目指している。展示では、本プラットフォームの整備の現状を紹介する。

1-7

生体内コラーゲンを指標とした鶏卵・鶏肉生産技術の確立と介護予防ブランドの創出に向けた取り組み

香川大学農学部 応用生物科学科食料生産学大講座

●展示概要

当研究室ではこれまで存在が確認されていない卵黄中のコラーゲンを検出し、定量する方法を確立し、特許出願を行っている。そして、卵黄中のコラーゲン量は飼育鶏舎内で鶏が受ける様々なストレスと関連していることが見えてきた。飼育環境を改善し、卵黄中のコラーゲン量を増やすことは、栄養価豊富な食材を市場に提供することとなり、日本の食文化の向上に貢献できる。

1-8

10MeV 電子線照射による殺菌・殺虫技術

原子燃料工業株式会社 照射サービス部

●展示概要

弊社が国内受託処理会社として唯一ご提供できる 10MeV 電子線の照射による、殺菌・殺虫技術をご紹介します。

1-9

和のスーパーフードを世界へ

株式会社神戸万吉商店

●展示概要

日本には一部地方では食生活に溶け込んでいるが、広く一般には知られていない食品素材があり、長い食歴のなかで「おばあちゃんの知恵袋」的に機能が認知されている場合が多い。本プロジェクトでは未利用の食品素材を“和のスーパーフード”と位置付け、科学的な健康効果の検証・食べ方の提案・流通の確立を 1 パッケージにした新たな健康増進産業を地方に創出することを目的としている。

1-10

FT-eco 触媒

株式会社フルヤ金属

●展示概要

青果物の老化を進めてしまうエチレンを、低温(5℃や 20℃)でも分解できる触媒【FT-eco 触媒】を紹介する。

分野 2 健康長寿社会の実現に向けた健康増進産業の創出

2-1

食後高血糖ピークと認知機能を制御しうる機能性農産物の研究開発

(健-15) 健康寿命を延伸させる機能性農水畜産物・食品の研究開発プラットフォーム

●展示概要

健康寿命を延伸させる機能性農水畜産物・食品を商品化するために必要なシーズ情報を収集し、in vitro 試験系、細胞・動物モデルでの機能性評価、ボランティア試験での機能性評価を行う。機能成分の同定、農産物の栽培、水産・畜産物の飼育、製造技術、知財取得に関する研究開発を行い、国内外での機能性農産物・食品の販売戦略案を紹介する。最初の検討課題として、「食後高血糖と認知機能を同時に制御できる機能性農産物、加工食品の開発」を行い、機能性表示農産物、加工食品としての登録を目指す。

2-2

農研機構・中央農研が育成した水稻・大麦品種（特性概要と可能性）

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター企画部 産学連携室

●展示概要

農研機構・中央農研（作物開発研究領域）が育成した水稻・大麦の中から、機能性や加工・調理特性、栽培特性等に優れた品種を選び、ポスターやリーフレット等にて紹介します。これら品種は育てやすく安定生産が可能で、農業者と実需者の双方にメリットがある。

2-3

**「うっかり」「ぼんやり」対策の新成分 プラズマローゲン
（民間実用化研究促進事業で得られた機能性食品素材の紹介）**

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター(生研支援センター)

●展示概要

廃鶏を用いて得られるプラズマローゲンの開発についてのポスター展示、リーフレットの配布、サンプル展示。

2-4

**抗歯周病バイオフィルム鶏卵抗体 (igY) オボプロン TM-biofilm
（民間実用化研究促進事業で得られた機能性食品素材の紹介）**

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター(生研支援センター)

●展示概要

複数の歯周病原菌が相互に影響しあうことで形成される歯周病バイオフィルム（病巣）を特異的に抑える鶏卵抗体の開発についてのポスター展示、リーフレットの配布、サンプル展示。

2-5

農作物の価値（機能性）を引き出す「農作物発酵エキス」の研究開発

株式会社 LIKE TODO JAPAN製薬

●展示概要

微生物発酵技術を活用することで農作物の機能性強化・微生物による新たな物質（機能性成分）の創成が行える。「オリジナル機能性原料を開発したい」、「有用な原料を探している」という機能性原料取扱事業者等へ、発酵による付加価値化で他とは違う新商品の研究開発（6次産業化）へのシーズ展示を行う。

2-6

北海道情報大学の食の臨床試験システム『江別モデル』について

北海道情報大学 健康情報科学研究センター

●展示概要

北海道情報大学の食の臨床試験システムと、現在までの実績について紹介する。

2-7

事業創出に向けたセルフフード・プランニングプラットフォームの活動方針

健康長寿社会の実現に向けたセルフ・フードプランニングプラットフォーム

●展示概要

セルフフード・プランニングプラットフォームとしての目的である「食と暮らしの改善プログラム」の紹介を踏まえ、事業化を目指した研究開発方針、推進モデルについて紹介する。

2-8

農産物の機能性表示食品商品化支援コンソーシアム

健康長寿社会の実現に向けたセルフ・フードプランニングプラットフォーム

● 展示概要

機能性成分分析の高度迅速化による、農産物（加工ほうれん草、みかん、茶）の機能性表示食品商品化を加速する研究計画の概要について紹介する。

2-9

ホタテオイル・コンソーシアム

健康長寿社会の実現に向けたセルフ・フードプランニングプラットフォーム

● 展示概要

産学官で取り組んでいる、健康長寿に資するホタテオイルの研究開発プロジェクトを紹介する。

2-10

うつ病予防機能を持つ食品探索プラットフォーム

茨城大学農医連携プロジェクト

● 展示概要

茨城大学農医連携プロジェクトにおいて、うつ病マウスが安定的に供給できるメドが立ち、3次元カメラ等を用いた行動評価系も確立しつつある。茨城県産農産物を用いて試行している抗うつ機能性探索システムを紹介する。

2-11

腸内環境からみたポリフェノール含有農林水産物の生体恒常性維持効果の実証研究

腸内環境・腸内微生物叢を標的にした高機能農林水産物開発プラットフォーム

● 展示概要

国産の機能性農産物やポリフェノール類を含む食品の摂取による腸内環境を介した生体調節機能の解析について紹介する。

2-12

機能性野菜を用いた腸内フローラ解析コンソーシアム

（平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム）

腸内環境・腸内微生物叢を標的にした高機能農林水産物開発プラットフォーム

● 展示概要

コンソーシアムの活動概要、目指す姿を紹介する。

2-13

農産物の品質を電磁波で簡便に非破壊計測する技術

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 物理計測標準研究部門 電磁気計測研究グループ

● 展示概要

農産物の品質評価では、少量のサンプルの破壊検査や、近赤外光などを用いた光技術による非破壊品質評価法があるが、表面状態の変化や、表皮が厚い作物の内部を測定することが困難である。そこで、より波長の長い電磁波を用いることで、この課題の解決に取り組んでいる。今回は、従来技術では計測できない包装された農産物の水分量をそのまま非破壊でリアルタイムに評価できる電磁波センシング技術を開発したので報告・紹介する。

2-14

高付加価値日本食の開発とそのグローバル展開コンソーシアム (平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム)

科学的根拠に基づく高付加価値日本食・食産業研究開発プラットフォーム

- 展示概要
研究開発の概略を紹介する。

2-15

特産農産物の過熱水蒸気加工による新たな市場の創出

特産農産物機能性活用研究開発プラットフォーム

- 展示概要
県内資源の一つが特産果樹である。その機能性を活かした新たな価値創造、機能性を活用する新たな加工技術開発による食品産業の高付加価値化と県民健康力の向上に貢献する取組について紹介する。

2-16

芍薬の有機・草生栽培について

つくば牡丹園

- 展示概要
芍薬の栽培については、病気対策や美しい外観を維持するためには、従来より農薬、化学肥料の利用が必然と考えられていたが、長年の栽培方法の改良の結果、芍薬の有機栽培は可能であることがわかった。芍薬は、これまで主に根の部分だけが漢方薬として使われてきたが、葉・茎にも薬効成分が含まれていることがわかっており、無農薬で栽培することでより多くの薬効成分の有効利用が考えられる。本件展示はそうした知見・成果に係るものである。

2-17

農・食で「日本を健康にする」研究開発プラットフォーム 活動紹介

農・食で「日本を健康にする」研究開発プラットフォーム

- 展示概要
研究開発プラットフォームの活動概要について紹介する。

2-18

魚肉由来タンパク質摂取による健康機能性の解明

関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科 食品化学研究室

- 展示概要
これまで魚肉に含まれる EPA や DHA の強い生理機能のためにほとんど着目されてこなかった、魚肉タンパク質成分の健康機能性について紹介する。

2-19

藍植物の成分分析と今後の展望

藍に関する研究開発プラットフォーム

- 展示概要
当プラットフォームの概要を展示。藍の成分分析などの研究開発を通じて、藍の多様な利活用を促進することを目指しており、その展望を紹介。

分野3 農林水産業の情報産業化と生産システムの革新

3-1 農業の機械化における特許権の分析の事例

NEDS

● 展示概要

農林水産業に関連する技術の「特許権分析」の手法と、農業分野で利用可能な画像撮影及び画像処理技術の特許権を分析した事例を紹介する。本展示の「特許権」の分析は、従来のみなし取下や抹消された特許情報を含めた特許分析とは異なり、権利存続中の特許公報及び今後権利化される可能性がある公開特許公報を分析の対象としたことから、市場への参入をけん制する特許情報の可視化が可能となった。本展示の特許権分析の手法は、特許権の情報を活用して農林水産分野の技術開発を戦略的に行うことが可能となるとともに、素材、健康増進産業、農業ICT、水産業等の技術における特許情報の分析にも応用が可能となっている。

3-2 低価格農薬を実現する革新的生産プロセス

低価格農薬を実現する革新的生産プロセス研究開発プラットフォーム

● 展示概要

研究開発プラットフォームについて紹介する。化学プロセスの革新技術であるフロー法は、従来のバッチ法と比較して、大幅なコストダウン、環境負荷低減が可能である。ジェネリック農薬の製造にも適用して、農薬原末の大幅コストダウンにより、農業従事者の収入増加に貢献することを目指している。

3-3 IOT とドローンを活用した、屋外露地栽培管理ロボットの実用化

八洲電業株式会社（やしまでんぎょう）

● 展示概要

IOT とドローンを活用した屋外露地栽培管理ロボットについて紹介する。露地栽培は大量の肥料/農薬を散布しても95%は土壌流出により栽培植物体には届かない。本ロボットは栽培植物体個々に設置しIOT データの収集とドローン飛行による能動的な施肥/防除/育成を管理する栽培植物体1株に1台で対応する減農薬/減肥料実現ロボットシステムである。ロボットは量産時には単価50円以下を想定している。新開発の2次電池で6か月稼働可能である。

3-4 グリーンエネルギーファーム研究開発プラットフォーム

グリーンエネルギーファーム研究開発プラットフォーム

● 展示概要

再生エネルギー産業の創出を目指す構想を紹介する。農地において食料と再生可能エネルギーを併産し、そのエネルギーを活用して農作物の高品質・高収量生産を行うとともに、エネルギーの地産地消によりCO2の大幅な削減や農業の活性化をはかる。

3-5 電子栽培ナビゲーション 「e-kakashi」

PSソリューションズ株式会社

● 展示概要

農業IoTソリューションの「e-kakashi」を展示する。マーケットイン型農業の技術確立に向けた取り組みや、次世代を担う若手への教育支援の取り組みについてもご紹介する。

3-6 IoT/M2M 情報可視化ツール ギョロモニター

株式会社ギョロマン

- 展示概要
情報の収集および可視化を支援するソリューションについて紹介する。

3-7 アジアモンスーンPFSコンソーシアム (平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム)

アジアモンスーンモデル植物工場システム研究開発プラットフォーム
(「Society5.0におけるファームコンプレックス」に変更予定)

- 展示概要
夏場の高温多湿環境下における温湿度制御を安価におこなう植物工場の開発と、ICTを活用した農業新ビジネスの創出についての取組を紹介する。

3-8 ICT でつなげる地域共生アグリバリュースペース研究開発プラットフォーム

ICT でつなげる地域共生アグリバリュースペース研究開発プラットフォーム

- 展示概要
全国高専ネットワークを母体とした ICT 農業をキーワードとした地域経済の活性化、地域産学連携の推進について紹介する。

3-9 太陽熱土壌消毒時の「省力施肥技術」と「消毒効果の見える化」

和歌山県農業試験場

- 展示概要
太陽熱土壌消毒の処理前に利用できる基肥全量施肥資材の開発、太陽熱土壌消毒の積算地温による土壌病害防除について紹介する。

3-10 農業就業者に優しく、経験・知識をフル活用できる農作業機器の R&D

リアルハプティクス応用農作業機器研究開発プラットフォーム

- 展示概要
リアルハプティクス技術の農作業現場での利活用イメージをポスターにて展示する。

3-11 欧州で高品質が認められた日本産 iChiGo の世界展開技術

日本産高級果実の超高品質世界展開技術開発プラットフォーム

- 展示概要
イチゴの果実表面に非接触状態を維持し、海外輸送に十分に耐えることができる日本産大型完熟イチゴ用包装容器を開発し、EUの食味審査会に於いて優秀味覚賞三ツ星を受賞した経緯、および高品質・高効率生産を実現する人間協働型ロボットシステムを紹介する。

3-12 太陽光を利用した膜透過による水処理・水浄化技術

国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター 産学官連携推進室

● 展示概要

太陽光を利用した膜透過による水処理・水浄化システムについて紹介する。色素類を修飾した多孔性膜に光を照射すると、膜上にある水は膜を透過し、透過した水は浄化される。光として太陽光を用いることも可能である。この技術は、汚染水を、太陽光等を用いて、場所に限定されることなく浄化水を製造することができる。

3-13 多機能建築設備家具 『クラシコア』

株式会社クラシコア

● 展示概要

『クラシコアが創造する空間と未来への可能性 ～クラシコア×素材×ICT～』を紹介する。

3-14 大阪府立大学植物工場研究センターの活動紹介

大阪府立大学植物工場研究センター

● 展示概要

センターにおける研究開発およびコンソーシアムについて紹介する。

3-15 データ収集／分析／予測による農業生産支援の高度化

データ収集／分析による農業生産の高度化研究開発プラットフォーム

● 展示概要

土壌調査・作付計画・生育状況確認・選果など農業の全過程において各種のセンサーによる精密なデータ収集と分析を行い、適時適切な評価と推奨／注意喚起を行う、IoTを活用した総合的農業支援のモデルを提案する。

分野 4 新たな生物系素材産業の創出

4-1 国産木材を利用した土壌改良材「DW ファイバー」

大建工業株式会社 エコ事業部

● 展示概要

国産木材と国産の腐植酸（フルボ酸）を複合した土壌改良材について紹介する。

4-2 超熱安定性酵素による酵素利用の新展開

国立大学法人 大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻

● 展示概要

超好熱菌が生産する酵素の多くは、100℃でも失活しない、界面活性剤や有機溶媒存在下でも安定に反応できると考えられる。ここではプロテアーゼを例に、安定性の高い酵素ならではの新しい酵素利用について提案・紹介する。

4-3

D-アミノ酸を新たな生物系素材とする新規食品産業の創出

関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科

●展示概要

関西大学 X 福山黒酢株式会社コラボ商品（フルーツ黒酢）を紹介する。このフルーツ黒酢には、関西大学老川典夫と福山黒酢株式会社との共同研究により開発された D-アミノ酸強化黒酢を使用している。黒酢醪から分離した D-アミノ酸高生産乳酸菌を黒酢仕込み時に添加して醸造した D-アミノ酸強化黒酢中には、より高濃度の D-アミノ酸が含まれており、D-アミノ酸に由来する旨味や美容効果の向上が期待されている。本技術は、幅広く D-アミノ酸を新たな生物系素材とする新規食品の生産に応用できる。

4-4

新規ストレス順応性誘導物質の発見とその探索法

佐賀大学農学部

●展示概要

新規ストレス順応性誘導因子を昆虫で発見し、マウスにおいても類似の生理的効果を示すことを発見した。こうした生理活性因子探索に資する（昆虫を用いた）測定系を提案する。

4-5

中層・大規模建築物の木質化を推進するための木質建築用新構造部材の製造技術や利用技術の確立

中層・大規模木造建築推進のための研究開発プラットフォーム

●展示概要

中層・大規模な木造建築物の構造部材として使用可能な木質建築用新素材の製造、利用技術を開発する研究計画の概要をビジュアルに示すポスターの展示を行う。

4-6

**中層・大規模ツーバイフォー建築コンソーシアム
（平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム）**

中層・大規模木造建築推進のための研究開発プラットフォーム

●展示概要

中層・大規模な木造建築物の構造部材としてツーバイフォー工法に使用可能な木質建築用新素材の製造、利用技術を開発する研究計画の概要をビジュアルに示すポスターの展示を行う。

4-7

Bioeconomy と食品製造工程の高度化

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門

●展示概要

前処理技術や酵素糖化技術などの繊維質資源変換技術を活用し、資源利用新時代に対応可能な新たな生物資源変換工程を提案する。

4-8

繊維質糖化酵素の長期安定生産技術

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門

●展示概要

地域資源の有効活用に向け、繊維質糖化酵素を長期間にわたり安定・効率的に生産できるシステムを開発し、地域産業由来の多様な原料を用いる酵素変換工程に対応可能とする。これらの研究開発概要を紹介する。

4-9

アドバンスドバイオカーボンコンソーシアム

(平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム)

農林水産業のためのナノテクノロジーを用いた新素材開発・新用途開発プラットフォーム

●展示概要

ナノセルロース等の森林由来の資源を用いた革新的新素材の創成を目的とした研究開発プラットフォームが実施するアドバンスドバイオコンソーシアムについて紹介する。

分野5 次世代水産増養殖業の創出

5-1

次世代水産増養殖の取組み

水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム

●展示概要

当プラットフォームが推進している課題を中心に、このプラットフォームから異分野融合により設立したコンソーシアムの出口等（商品化・事業化）の方向について展示する。

5-2

陸上養殖による輸出競争力を持つ新たな国産ブランド魚の開発

(平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム)

水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム

●展示概要

次世代型閉鎖循環式陸上養殖システムの実証に向けた取組（陸上養殖による輸出競争力を持つ新たな国産ブランド魚の開発について）を紹介する。

分野6 世界の種苗産業における日本イニシアチブの実現

6-1

筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

「新たな育種体系の確立への取組み」

筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

●展示概要

筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センターは食料・生物資源の安定的な確保に向けた植物バイオテクノロジーと遺伝資源保全利用を基調とした基盤的遺伝子研究から応用的研究並びに研究成果を活用したイノベーションの創出支援と教育への展開に寄与することを目的に今年4月1日に発足したセンターである。当日は、本センターで行っているメインプロジェクトである内閣府 SIP 事業「次世代農林水産物創造技術」の新たな育種体系の確立として、ゲノム編集を用いたトマト等の作出とその社会受容に向けた取組みに関して紹介する。

6-2

POCT やオンサイトに向けた医療診断を農作物の病害虫遺伝子診断へ

パルステック工業株式会社

●展示概要

高速リアルタイム PCR 技術シーズの紹介。高速で高精度な遺伝子検査によって、病害虫が感染または汚染している農作物、種苗、母樹の輸出入や国内流通を迅速に防ぎ、農作物の安心安全と物流のスピードアップを提案する。

6-3

染色体マイクロダイセクション法を用いたイチゴのゲノム分析

香川大学農学部、かずさDNA研究所

●展示概要

イチゴの染色体を1本単位で抽出して、その染色体に座上するDNAの配列を高精度で解明できる配列分析の方法を紹介する。

分野7 その他

7-1

地域産学連携・マッチングプランナー

国立研究開発法人 科学技術振興機構

●展示概要

企業等の開発ニーズと大学等の研究シーズを橋渡しするマッチングプランナーの活用について、ポスターとチラシで紹介する。そのほか、科学技術振興機構(JST)が行っている産学連携事業を紹介する。

7-2

研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

国立研究開発法人 科学技術振興機構

●展示概要

大学等の技術シーズを活用して事業化を目指す企業の研究開発費を支援する公募事業をポスターとチラシで紹介する。その他、科学技術振興機構(JST)が行っている産学連携事業を紹介する。

7-3

「スナゴケ」利用による緑化技術
(民間実用化研究促進事業で得られた緑化用植物の紹介)

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター(生研支援センター)

●展示概要

「スナゴケ」を利用した緑化技術の開発についてのポスター展示、リーフレットの配布、サンプル展示。

7-4

御用聞き活動から点の情報を線に結び『Matching HUB』活動の全国展開
ブース①～④

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 産学官連携本部 地域連携推進センター

●展示概要

本学では3年前より「北陸地域の活性化を目指した新産業創出と人材育成」を目的とした広域的な産学連携活動(Matching HUB)をスタートさせ、現在ではその活動の幅を全国に広めている。今回は、この活動を加速させるためのイベントである「Matching HUB Kanazawa 2017」を中心に、その他の地域(小樽商科大学、熊本大学)での活動についても紹介する。

7-5

立体木材トラス

軸力系立体木材トラス研究開発プラットフォーム

●展示概要

小径材、アカネ材など欠点材の有効利用等を紹介する。接合部に金物が見えないので木材の一体感がある。

7-6

湛水田でのバイオメタン生産を基盤とした持続的低炭素農業システムの構築

名城大学

●展示概要

水稻栽培で廃棄される稲わらを資源とし、水田でのエネルギー創製技術を開発した。水田に鋤き込んだ稲わら1kgからメタン濃度60%以上のバイオガス約300Lを回収しエネルギー利用するとともに発酵残渣を水稻栽培の肥料として使うトリジェネレーション技術（GETシステム）を紹介する。

7-7

農産加工品等の「おいしさ」の数値化を目指して～栄養成分分析・衛生試験のご案内～

一般財団法人日本食品分析センター

●展示概要

農産加工品の栄養成分分析や衛生試験、化粧品成分分析、異物異臭検査、薬事試験等を紹介する。

7-8

機能水の利用による、薬剤を使用しない殺菌技術

日新技研株式会社

●展示概要

薬剤を使用しない殺菌技術の紹介。

7-9

ストックマネジメント効率化コンソーシアム (平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム)

ストックマネジメント効率化研究開発プラットフォーム

●展示概要

UAV計測と3D画像構築による農業水利施設の効率的な機能診断システムについて紹介する。

7-10

糖鎖ナノバイオコンソーシアム (平成28年度 研究開発モデル事業採択コンソーシアム)

革新的ウイルス対策技術研究開発プラットフォーム

●展示概要

当コンソーシアムの研究開発概要を紹介する。

7-11

高反射防草シート、防虫ネット及び遮光ネットの開発

小泉製麻株式会社 開発・マーケティング室

●展示概要

高反射防草シート、防虫ネット及び遮光ネットについてポスター展示（全国各地で試験中の成果報告とパートナーの募集）を行う。

7-12

吸血ダニ被害ゼロを目指すコンソーシアムの創出

香川大学農学部 応用生物科学科食料生産学大講座

●展示概要

工業化された養鶏産業において国内外問わず吸血ダニ「ワクモ」の通年被害の顕在化が大きな問題となっており、被害の予知・防止を目指したワクモ被害の「みえる化」が重要な課題となっている。一方で我々は吸血性ダニが静電気に誘引される特性を利用して開発、国際特許を取得した捕獲装置 iTrap®、iTrap II®を開発した。本装置を用いることで鶏舎内でのワクモのモニタリングに成功し鶏舎内のワクモ被害のみえる化に貢献した。これらについて紹介する。

7-13

食農ビジネス推進センターの紹介

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食農ビジネス推進センター

●展示概要

昨年発足した食農ビジネス推進センターを紹介する。

7-14

シクミネット

しゅくみねっと株式会社

●展示概要

会員制組織向け会員管理ツール「シクミネット」の紹介。

平成29年6月13日 「知」の集積と活用の中 産学官連携協議会 ポスターセッション

【 研究開発モデル事業 採択コンソーシアムによるピッチ発表 】

発表順	発表時間	研究領域	担当している研究開発プラットフォームの名称	採択されたコンソーシアムの名称
1	14:45 ～ 14:51	健-1	腸内環境・腸内微生物叢を標的にした高機能農林水産物開発プラットフォーム	機能性野菜を用いた腸内フローラ解析コンソーシアム
2	14:51 ～ 14:57	健-4	科学的根拠に基づく高付加価値日本食・食産業研究開発プラットフォーム	高付加価値日本食の開発とそのグローバル展開コンソーシアム
3	14:57 ～ 15:03	情-5	アジアモンスーンモデル植物工場システム研究開発プラットフォーム	アジアモンスーンPFSCコンソーシアム
4	15:03 ～ 15:09	生-1	農林水産業のためのナノテクノロジーを用いた新素材開発・新用途開発研究開発プラットフォーム	アドバンスドバイオカーボンコンソーシアム(ABC)
5	15:09 ～ 15:15	水-2	水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム	陸上養殖による輸出競争力を持つ新たな国産ブランド魚の開発コンソーシアム
6	15:15 ～ 15:21	新-1	ストックマネジメント効率化研究開発プラットフォーム	ストックマネジメント効率化コンソーシアム
7	15:21 ～ 15:27	新-7	革新的ウイルス対策技術研究開発プラットフォーム	糖鎖ナノバイオコンソーシアム